

Effectiveness of an online weekly journal using blogs

Ayumi Uchida

International Christian
University

Reference data:

Uchida, A. (2010). Effectiveness of an online weekly journal using blogs. In A. M. Stoke (Ed.), *JALT2009 Conference Proceedings*. Tokyo: JALT.

本稿では、米国州立大学の中級日本語コースでブログを使用し行ったオンラインウィークリージャーナルの紹介と報告をする。学習者は毎週記事もしくは音声ファイルを各自のブログに投稿し、他の学習者のブログへのコメントの書き込みも行った。開始時と終了時に行ったアンケート調査の結果から、ブログ作成は通常の課題に比べ、学習者の書く意欲を高める効果があった。また、学習者はオンラインウィークリージャーナルが日本語習得に役立ち、文章作成に自信がついたと感じていることがわかった。更にブログ活動は学習者間の交流を深め、自律学習者へ移行するための有効なツールであることも明らかになった。本稿では、これらの結果を踏まえ言語教育に於けるブログの有効性を検証・考察する。

The use of blogs in a university intermediate level Japanese language course is presented. The students used blogs to write weekly journals, which they then shared with classmates to read and provide comments on. To integrate four skills, students also recorded audio files of their speech on the blogs and were able to listen to the audio files of others. When compared to traditional writing assignments, the results of the questionnaires show that these blogs better motivated students to write in Japanese, improved their Japanese proficiency, and increased their confidence in their writing ability. The blogs were also successful in building a sense of community among the students and forced them to learn independently. A description of the blog method and its advantages for adoption in the classroom environment are presented in this paper.

はじめに

近年ブログは学習者に教室外で目標言語を使用する場を与え、目標言語使用者とのコミュニケーションを可能にするため、日本語教育を含め多くの外国語教育において広く取り入れられている(Armstrong & Retterer, 2008; Fukai & Sato, 2007; Ishida, 2005)。外国語教育でブログを使用する利点は、学習者が定期的に作文・読解練習をすることができること、学習者が自由に自分を表現することができること、教室内外の他者と交流することができること、自分の作成したブログを見直し振り返ることができること、また学習者の自律性を促進することができる点だと言われている(Armstrong & Retterer, 2008; Ducate & Lomicka, 2005; Hann, 2007; Pinkman, 2005)。

本稿では、2009年春学期にこのようなブログの特長を利用し、米国州立大学の中級日本語コースでブログを使用し行ったオンラインウィークリージャーナルの実践例を報告する。また、開始時と終了時に行ったアンケート調査の結果をもとに、ブログを使用する有効性を考察する。



オンラインウィークリージャーナルの概要

目的

中級コースでは学習する文型や表現が多く、授業時間内で運用練習に十分な時間を割くことが難しいため、ブログを作成することで学習者に練習する機会を与えることを目的とし、オンラインウィークリージャーナルを行うことにした。

また、他の学習者と教師のフィードバックの効果に関する研究が多岐にわたり行われているが、上村(2006)は学習者同士のフィードバックが文法と内容の修正を導き、作文力の向上につながったと報告している。Tsui & Ng(2000)の研究では、学習者同士の推敲活動を通して、学習者に読み手の存在を意識し、弱点を認識させ、協働的学習を促進し、書き手としての自覚を育て、自立した学習者としての自信を育てる効果があることが判明した。よって、従来の作文指導ではフィードバックを与えるのは教師であったが、本プロジェクトでは学習者に他の学習者の作文を読ませ、フィードバックをし合い、自律的に学習させ、日本語力向上を目指すことも大きな目的とした。

更に、学習者が上級レベルに到達するため、または個人で学習するようになった際に困ることがないように、ブログ作成を通して自らの学習に責任を持ち、学習を自己管理する能力を身につけさせることも目的とした。また、限られた授業時間内では学習者一人一人にACTFL-OPIの上級レベルでも必要とされる叙述・描写の練習をさせることが難しいため、オンラインウィークリージャーナルで発話の音声ファイルを作成し、その練習をさせることも目的とした。

参加者

米国州立大学で4学期間もしくはそれ以上の期間日本語を学習した学習者で、中級日本語コースに登録している39名が参加をした。39名の性別は男性が20名、女性が19名であった。学年は1名が二年生、8名が三年生、25名が四年生、4名が大学院生に在籍しており、残りの1名は高校に在籍しながら大学の授業を取っている学習者であった。39名全員、日本語副専攻もしくは日本語専攻の学習者であった。オンラインウィークリージャーナルは中級日本語コースのカリキュラムに組み込み、課題の一つとした。参加者の中には既に自分のブログを持ちブログの使い方がわかっている学習者もいたが、ブログを利用したことのない者もいたため、開始前にコンピューターラボでオリエンテーションを行い、ブログのアカウントを作成し、記事・コメントの投稿方法、音声ファイルの作成・投稿方法を身につけさせた。

課題

中級日本語コースは全15週間あったが、オンラインウィークリージャーナルは第二週目から最終週までの14週間で行った。四技能を統合させるため、次のような課題を出した。まず、作文と発話の練習として、学習者に一週間に一回自分のブログに記事またはスピーチの音声ファイルを投稿させた。同時に、読解と聴解の練習として、クラスメートの記事を読み、音声ファイルを聞き、一週間に最低一つコメントを投稿させた。また、他者からコメントの書き込みがあった場合は必ず返事を書くよう指示をした。

学習者が作成する記事・音声ファイルのトピックは教師が与えるときと、学習者に自由に決めさせるときを半ずつ設けた。教師が指定したトピックには、自己紹介、学期を通しての目標、学期途中・学期終了後の学習の振り返り、授業で扱った内容に関しての意見や感想などがあった。尚、課題は毎週出していたが、試験前と春休みには課題を出さなかったため、記事を投稿する回数は合計8回あり、音声ファイルを投稿する回数は4回あった。

ブログはBlogger (www.blogger.com) を利用し、各自で作らせた。音声ファイルは、まず無料レコーディングおよびサウンド編集ソフトウェアであるAudacity (audacity.sourceforge.net)を利用し、各自のコンピューターで発話を録音させ、MP3またはWAVファイルに変換させた。その後、米国ミネソタ大学のCollege of Liberal Arts Office of Information Technologyが開発した映像・音声ファイルを保存し、インターネット上にアップロードすることができるMedia Mill (mediamill.cla.umn.edu/mediamill/ftpLoginInfo.php)というメディア配信サービスを利用し、各自のブログに音声ファイルを投稿させた。

評価

オンラインウィークリージャーナルではブログを通し自律学習を促すことも目的としていたため、教師は学習者のブログの添削やコメントの投稿はせず、学習者は学習者自身による見直しと教師以外の他者からのコメントをもとに、よりよいブログの作成を目指した。評価は期限通りに記事を投稿したかどうかのみで行い、内容や長さや文法の正確さ等は評価の対象としなかった。しかし、表記・文法に間違いがないようできるだけ心がけるよう指示をした。

アンケート方法と内容

オンラインウィークリージャーナル開始時

オンラインウィークリージャーナル開始時と終了時にアンケート調査を行った。アンケートの内容は、ブログ作成課題を通して学習者のライティングへの意識の変化を調査したHann(2007)を参考にした。まず、オンラインウィークリ

ジャーナルの課題を通して、学習者のライティングとスピーキングへの意識が変わるかを調べるために、1) 日本語で書くことが好きか、2) 日本語で話すことが好きか、3) 日本語で書くことに自信があるか、4) 日本語で話すことに自信があるか、という項目を設けた。

次に、オンラインウィークリージャーナルでは学習者に学習者同士で互いの日本語を読み合い、聞き合う機会を与えたが、それが学習者の意識にどのような変化を及ぼし、日本語学習に効果的だと思われるかを見るために、5) 他の学習者に自分の作文を読んでほしいか、6) 他の学習者に自分の発話を聞いてほしいか、7) 他の学習者の作文を読むことは日本語能力向上に役立つと思うか、8) 他の学習者の発話を聞くことは日本語能力向上に役立つと思うか、という項目を設けた。

最後に、通常の課題では学習者は常に教師から主に文法に関してフィードバックをもらっていたが、今回のオンラインウィークリージャーナルではフィードバックは他の学習者からの主に記事や音声ファイルの内容についてのものであった。オンラインウィークリージャーナルに取り組むことで、教師と他の学習者からのフィードバックに対する意識に変化があったか、内容に関するフィードバックも日本語の学習につながると思うようになったか、を調べるために9) 作文や発話の文法について教師からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思うか、10) 作文や発話のアイデアや内容について教師からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思うか、11) 作文や発話の文法について他の学習者からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思うか、12) 作文や発話のアイデアや内容について他の学習者からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思うか、と聞いた。質問は以上12項目で、「全くそう思わない」を1とし、「強くそう思う」を5とした5段階で評価するようにした(Appendix 1)。

オンラインウィークリージャーナル終了時

オンラインウィークリージャーナル終了時にもアンケートを行った。質問は開始時と同じものに、13) オンラインウィークリージャーナルを楽しんだか、14) オンラインウィークリージャーナルはライティングを向上させるのに役立ったか、15) オンラインウィークリージャーナルはスピーキングを向上させるのに役立ったか、16) オンラインウィークリージャーナルは従来の作文練習に比べ、より多くのことを書こうという意欲を高めたか、の4項目を足した。更に、17) オンラインウィークリージャーナルの利点は何か、18) オンラインウィークリージャーナルの欠点は何か、19) 今後もブログを続けるか、を自由回答の形式で聞いた(Appendix 2)。

アンケート結果と考察

開始時と終了時のアンケート結果の比較

上記のアンケートの結果の平均値と標準偏差を表1に示した。まず、1から4では、4の「日本語で話すことに自信がある」以外は開始時より終了時の数値のほうが高かった。これはオンラインウィークリージャーナルを通して従来よりも頻繁に作文・発話練習をしたことが、学習者の意識に変化を及ぼしたと考えられる。先行研究(Armstrong & Retterer, 2008; Hann, 2007)でもブログ活動によって、学習者は学習言語での作文活動を楽しめるようになり、学習言語を使用することに自信を持てるようになったということが明らかになっており、今回の結果はその先行研究の結果と同様であった。

「日本語で話すことに自信がある」の数値が下がった理由は、オンラインウィークリージャーナルでは音声ファイルを作成し投稿することより、記事を書き投稿をすることのほうが多かったことが一つの要因と考えられる。また、学期が進むにつれ、授業内で扱う文型や表現の難易度が上がったため、オンラインウィークリージャーナルによって教室外で発話する機会は増えたものの、自信にはつながらなかったようである。

表1 オンラインウィークリージャーナル開始時と終了時のアンケート結果の比較

回答項目	開始時 平均	開始時 標準 偏差	終了時 平均	終了時 標準 偏差
1. 日本語で書くことが好きだ。	4.33	0.85	4.42	0.70
2. 日本語で話すことが好きだ。	4.22	1.03	4.30	0.80
3. 日本語で書くことに自信がある。	3.31	0.97	3.45	0.96
4. 日本語で話すことに自信がある。	2.92	1.01	2.91	0.90
5. 他の学習者に自分の作文を読んでほしい。	3.17	1.09	3.24	1.18
6. 他の学習者に自分の発話を聞いてほしい。	3.28	0.90	2.97	0.90
7. 他の学習者の作文を読むことは日本語能力向上に役立つと思う。	3.56	1.12	3.67	1.06
8. 他の学習者の発話を聞くことは日本語能力向上に役立つと思う。	3.69	1.10	3.64	1.10

回答項目	開始時 平均	開始時 標準 偏差	終了時 平均	終了時 標準 偏差
9. 作文や発話の文法についての教師からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思う。	4.58	1.04	4.73	0.45
10. 作文や発話のアイデアや内容について教師からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思う。	4.50	0.96	4.56	0.61
11. 作文や発話の文法について他の学習者からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思う。	3.56	1.19	3.85	0.99
12. 作文や発話のアイデアや内容について他の学習者からコメントをもらうことは日本語能力向上に役立つと思う。	3.64	1.13	3.73	0.93

次に、5の「他の学習者に自分の作文を読んでほしいか」という問いは開始時より終了時の数値のほうが高かった。数値にばらつきがあるが、書くことに自信がついたことと関連して、ブログ活動を繰り返し行っていく上で、自分の記事をより多くの人に読んでもらいたいと思うようになった学習者が増えたと考えられる。Hann(2007)がブログ作成課題終了後に行ったアンケート調査でも、開始時に比べて、他の学習者に自分の作文を読まれることに対して肯定的になり、作文を読んでもらうことを好み、楽しむようになったことが明らかになったが、今回の調査結果でも同様の結果が出たと言えるだろう。6の「他の学習者に自分の発話を聞いてほしい」は「日本語で話すことに自信がある」の数値が下がったことと関連し、終了時の数値の方が低かったと考えられる。

7の「他の学習者の作文を読むことは日本語能力向上に役立つと思う」では開始時が3.56だったが、終了時は3.67で数値は伸びたが、答に幅があった。他の学習者の作文を読む機会が大幅に増えたが、他の学習者から学ぶことができたと思う学習者とそうは思わなかった学習者で答えが分かれたようである。一方で、8の「他の学習者の発話を聞くことは日本語能力向上に役立つと思う」の終了時の数値は、数値にばらつきがあったが減少した。これは、既に記したように、音声ファイルを作成し投稿する回数が少なかったことが一つの要因だと考えられる。更に、音声ファイルは通常の記事に比べると、作成するのに時間がかかるため、音声ファイルをブログに投稿した学習者が少なく、聞くことができる音声ファイルがあまりなかった。この状況も、学習者が日本語能力向上に結びついたとは思えなかった要因の一つだと思われる。

9から12の回答項目では、開始時も終了時も他の学習者からのコメントより教師からのコメントの方が有益だと考えていることが明らかになった。これは先行研究でも学習者は教師からのコメントをより信頼し、好むという結果が出ており、今回も同様の結果が出たと言えるのではないだろうか(Connor & Asenavage, 1994; Zhang, 1995; Nelson & Carson, 1998; Tsui & Ng, 2000)。

しかし、開始時と終了時の数値の差を見ると、9と10の「教師からのコメントが役に立つ」に比べて、11と12の「他の学習者からコメントが役に立つ」の数値の伸びのほうが多かった。これは7の「他の学習者の作文を読むことは日本語能力向上に役立つと思う」の結果同様、ブログ活動を通して他の学習者との交流が増えたことで、学習者同士のやりとりが学習に結びつくと考えられるようになったと思われる。先行研究でも学習者が学習者同士の推敲活動が作文力を向上させるのに効果的であると感じているという結果が出ているが(Keh, 1990; Rothschild & Klingenberg, 1990; Tsui & Ng, 2000)、今回のブログ活動を通して同様の意見が出たといえるだろう。

終了時のアンケート結果

表2は終了時のアンケートに追加した回答項目13から16の結果を示したものである。数値に幅があったものの、13、14、16の数値は高く、オンラインウィークリージャーナルを楽しみながら、作文力が向上していることを自覚できた学習者が多かったようである。また、オンラインウィークリージャーナルは通常の作文練習と異なり、教師のコントロールが少なく、また教師以外の読者がいたが、学習者によってはその環境が意欲を高める効果があったと考えられる。15の「スピーキングを向上させるのに役立った」の数値は低かったが、これは既に述べたように、音声ファイルを作成する回数が少なかったこと、音声ファイル作成に時間がかかりブログに投稿できた学習者が少なかったこと等が大きな要因と考えられる。

表2 オンラインウィークリージャーナル終了時のアンケート結果

回答項目	終了時 平均値	終了時 標準偏差
13. オンラインウィークリージャーナルを楽しんだ。	3.48	1.13
14. ライティングを向上させるのに役立った。	3.76	0.95
15. スピーキングを向上させるのに役立った。	2.82	1.03
16. 従来の作文練習に比べ、より多くのことを書こうという意欲を高めた。	3.76	1.18

終了時のアンケート結果:自由回答部分

自由回答でオンラインウィークリージャーナルの利点は何か聞いてみたところ、以下のような記述が見られた。

- トピックを選び自由に書いたり、自分の考えを言うことができた。(9名)
- 書く練習・話す練習・読む練習がたくさんできた。(8名)
- 教室外でクラスメートと交流ができ、お互いのことを知ることができた。(6名)
- 自分の意見や考えを他の学生と共有できた。(4名)
- クラスメートの記事や音声ファイルから刺激を受けることができた。(4名)
- 自分の好きな時間にできた。(3名)
- 成績をあまり気にせずに書けた・話せた。(2名)
- 通常の宿題と異なり、楽しく取り組めた。(1名)

利点として記述されたものの中で、一番多かったものは「トピックを自分で選べたこと、自由に自分の考えを書くことができたこと」という意見であった。今回のオンラインウィークリージャーナルでは教師のコントロールが少なく、採点も細かく行わなかった。当初は学習者に自由を与えず、学習につながるのかという不安もあったが、学習者はトピックが自由なときや自分の意見や考えを表現するときほどいいものを作成しており、学習者にある程度の自由を与える必要性和有効性を感じた。

次に多かったのは「書く練習・話す練習・読む練習がたくさんできたこと」であった。オンラインウィークリージャーナルはより多く日本語を使用する機会を与えることが大きな目的であったが、学習者はその与えられた機会を好意的に受け止め、活用していたことが明らかになった。

「教室外でクラスメートと交流ができ、お互いのことを知ることができたこと」という意見も多かった。学習者間の交流は教師の予想以上で、学習者が他のブログをよく読み、学習者同士で活発にコメントを残し、ブログを通しての交流をととても楽しんでた。ブログを通して学習者同士の交流ができたことで、クラスの雰囲気や運営にも非常にいい影響を及ぼし、教師にとっても大きな利点であった。

また、オンラインウィークリージャーナルが意見交換や考えを共有する場になっていたこと、他の学習者のブログから刺激を受けることができたことも利点の一つとして挙げられていた。通常のクラスでは時間が限られているためなかなかできないが、オンラインウィークリージャーナルを通して学習者に

意見や考えを発表させる場を持たせ、それを他の学習者と共有し、刺激し合えたことはとても有意義であった。

次に、欠点について見られた自由記述を示す。

- 一つの記事を投稿するまでに時間がかかり負担が大きかった。(9名)
- 音声ファイルを作成し投稿することが大変だった。(4名)
- 自分のブログを他者に見られて、特に音声ファイルを聞かれて恥ずかしかった。(4名)
- 自分でトピックを決めなければならなかった。(3名)
- 課題をするのを忘れやすかった。(3名)
- 教師からのフィードバックがなかった。(2名)

以上の結果から、オンラインウィークリージャーナルは負担が大きかったと感じている学習者が多くいたことがわかった。確かに、オンラインウィークリージャーナルは読者の存在を考えながら記事を書かなければならないこと、音声ファイルを作成するには内容を決め、練習をし、それから投稿をしなければならないことなどから、通常の課題より負担が大きかった。このことより、他の課題の削減や記事・音声ファイルの投稿数の調整など、再考する必要性が見えた。音声ファイルに関しては作成の負担以外に、自分のスピーチをブログに載せることが恥ずかしかったという意見もあった。

また、教師からのフィードバックがなかったことも欠点の一つにあげられていた。本研究ではブログを通し自らの学習に責任を持ち、自己管理する能力を身につけてほしかったため、教師はブログの添削やコメントの投稿はしなかった。しかし、学習者は記事や音声ファイルを作成する際に、自分で調べ、努力をしても文法や表現について不明な点があり、それらについては教師のフィードバックが必要であった。また、学習者が自ら発見した不明な点について教師がフィードバックを与えることは日本語習得につながり効果があると考えられる。更に、学習者の間違った知識を訂正する機会にもなるため、ある程度のフィードバックは必要であった。オンラインウィークリージャーナルを行う上でもう一度考え直す必要がある重要な点だと考えられる。

最後に、今後もブログを続けるか自由回答の形式で聞いた。学習者の45.4%が続けると答え、33.3%が続けないと答えた。21.2%の学習者は続けるかどうかまだわからないと答えた。半数近くの学習者が今後も日本語でブログを続けると答えたが、オンラインウィークリージャーナルを通して、自分で日本語を学習し続け、自律学習者になる為の一つの方法を提案できたのではないと思われる。

まとめと今後の課題

本稿では、ブログの特長を活用したオンラインウィークリージャーナルの実践例を報告し、開始時と終了時に行ったアンケート調査の結果を考察した。

アンケートの結果から、オンラインウィークリージャーナルを行い、他の学習者のブログと他の学習者からのコメントを読むことが日本語力向上に有効であると感じる学習者が増えたことがうかがえた。ブログ作成を通して自らの学習に責任を持ち、学習を自己管理する能力を身につけさせることを目的としていたが、この結果から、オンラインウィークリージャーナルは学習者に教師から離れ、自主的に学習させるいい機会になったと考えられる。

また、オンラインウィークリージャーナルを通して、練習量が増え、作文力が増え、学習者間の交流が増え、学習者同士で刺激を与え合えたことに加え、学習者が自分の学習を振り返り、成長を確認することができる機会にもなり、それが学習者の刺激・自信になったのではないと思われる。

今後の課題としては、次の三点がある。まず、音声ファイル作成には時間がかかり苦労をしたという学習者が多かったことから、より容易な作成手順を考える必要がある。今回のオンラインウィークリージャーナルでは音声ファイルを作成する際に、まずAudacityで音声を録音し、MP3またはWAVファイルに変換した。次にブログで音声ファイルを再生する為にMedia Mill を利用し、音楽再生ができるブログパーツを作成した。それからブログパーツを使用するために、Media Millにより生成されたコードをブログに張り付けるという段階を踏まねばならなかった。学習者によっては、この過程が複雑で、音声ファイル投稿までに時間がかかったようである。今後は、Audacityのように音声ファイルの編集はできないが、容易に音声を録音し、生成されたコードをブログに貼るだけでいいvocaroo (www.vocaroo.com)のようなオンラインボイスレコーダーの利用も考え、簡潔化を図りたい。

次に、評価の仕方も再考する必要がある。今回は期限通りに投稿したかどうかのみで評価をしたが、今後は学習者の努力と労力を適切に評価できるよう長さや内容に応じた基準を設けたい。

最後は教師からフィードバックのあり方である。既に記述したように、学習者からは教師からのフィードバックが欲しかったという意見があった。また、できるだけ正しい文法・表現を使用するよう指示したが、理解しにくい記事も多々あった。読者のことも考え、適度な教師からの添削・訂正は必要だと考える。更に、学習者間だけではなく、教師・学習者間の交流を深め、信頼関係を構築するためにも教師がフィードバックをすることは必要である。

オンラインウィークリージャーナルでは通常の授業活動以外に、日本語を使用し練習する機会を与えられただけではなく、学習者の学習や日本語に対する意識・自信にも変化をもたらすことができ、とても有意義であった。上記の改善点を再考し、更にブログを活用した活動を行っていきたい。今後は、学習者同士のみでなく日本人との交流を更に増やすために、日本の大学等と協力し、共同でオンラインウィークリージャーナルを行うことも可能であろう。また、今回は開始時と終了時に行ったアンケート調査結果をもとにオンラインウィークリージャーナルの有効性を考察したが、今後は実際にオンラインウィークリージャーナルが学習者の日本語力向上につながり、自律学習を促すことができるのか調査方法を変え客観的に検証してみたい。

Bio data

Ayumi Uchida is currently an instructor at International Christian University, where she teaches Japanese language. <ayuchida@nt.icu.ac.jp>

References

- Armstrong, K., & Retterer, O. (2008). Blogging as L2 writing: A case study. *AACE Journal*, 16(3), 233-251.
- Connor, U., & Asenavage, K. (1994). Peer response groups in ESL writing classes: How much impact on revision? *Journal of Second Language Writing*, 3(3), 257-276.
- Ducate, L., & Lomicka, L. (2005). Exploring the blogosphere: Use of web logs in the foreign language classroom. *Foreign Language Annals*, 38(3), 410-421.
- Fukai, M., & Sato, S. (2007) Examples of blog project at different levels. In S. Shinagawa (Ed.), *CASTEL-J in Hawaii 2007 Proceedings*, 265-268. Honolulu, HI: CASTEL-J.
- Hann, F. M. (2007). The secret blog group as a writing motivator. In K. Bradford-Watts (Ed.), *JALT2006 Conference Proceedings* (pp. 794-803). Tokyo: JALT.
- Ishida, M. (2007). Innovative use of blogs in Japanese language pedagogy. In S. Shinagawa (Ed.), *CASTEL-J in Hawaii 2007 Proceedings* (pp. 143-144). Honolulu, HI: CASTEL-J.

- Kamimura, T. (2006). Effects of peer feedback on ESL student writers at different levels of English proficiency: A Japanese context. *TESL Canada Journal*, 23(2), 12-39.
- Keh, C. L. (1990). Feedback in the writing process: A model and methods for implementation. *ELT Journal*, 44(4), 294-304.
- Nelson, G. L., & Carson, J. G. (1998). ESL students' perceptions of effectiveness in peer response groups. *Journal of Second Language Writing*, 7(2), 113-131.
- Pinkman, K. (2005). Using blogs in the foreign language classroom: Encouraging learner independence. *The JALT CALL Journal*, 1(1), 12-24.
- Rothschild, D., & Klingenberg, F. (1990). Self and peer evaluation of writing in the interactive ESL classroom: An exploratory study. *TESL Canada Journal*, 8(1), 52-65.
- Tsui, A. B. M., & Ng, M. (2000). Do secondary L2 writers benefit from peer comments? *Journal of Second Language Writing*, 9(2), 147-170.
- Zhang, S. (1995). Reexamining the affective advantage of peer feedback in the ESL writing class. *Journal of Second Language Writing*, 4(3), 209-222.

Appendix I

Pre-task questionnaire

- | | strongly
disagree | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|----------------------|---|---|---|---|---|
| 1. I like writing in Japanese. | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. I like speaking in Japanese. | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. I am confident when writing in Japanese. | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 4. I am confident when speaking in Japanese. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. I want other students to read my writing. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. I want other students to listen to me speak. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. Reading the work of other students improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. Listening to other students speak improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. Receiving comments from the teacher on my writing / speaking grammar improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. Receiving comments from the teacher on the ideas and content of my writing / speaking improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. Receiving comments from other students on my writing / speaking grammar improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. Receiving comments from other students on the ideas and content of my writing / speaking improves my Japanese proficiency. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Appendix 2

Post-task questionnaire

	strongly disagree	1	2	3	4	5	strongly agree		1	2	3	4	5
1. I like writing in Japanese.	1	2	3	4	5			12. Receiving comments from other students on the ideas and content of my writing/speaking improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5
2. I like speaking in Japanese.	1	2	3	4	5			13. I enjoyed the online weekly journal.	1	2	3	4	5
3. I am confident when writing in Japanese.	1	2	3	4	5			14. I feel that the online weekly journal improved my writing skills.	1	2	3	4	5
4. I am confident when speaking in Japanese.	1	2	3	4	5			15. I feel that the online weekly journal improved my speaking skills.	1	2	3	4	5
5. I want other students to read my writing.	1	2	3	4	5			16. The online weekly journal motivated me to write more in Japanese as compared to the traditional writing assignments.	1	2	3	4	5
6. I want other students to listen to me speak.	1	2	3	4	5			17. What do you think were the advantages of doing a blog in this course?	1	2	3	4	5
7. Reading the work of other students improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5			18. What do you think were the disadvantages of doing a blog in this course?	1	2	3	4	5
8. Listening to other students speak improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5			19. Will you continue writing on your blog in the future?	1	2	3	4	5
9. Receiving comments from the teacher on my writing/speaking grammar improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5								
10. Receiving comments from the teacher on the ideas and content of my writing/speaking improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5								
11. Receiving comments from other students on my writing/speaking grammar improves my Japanese proficiency.	1	2	3	4	5								